

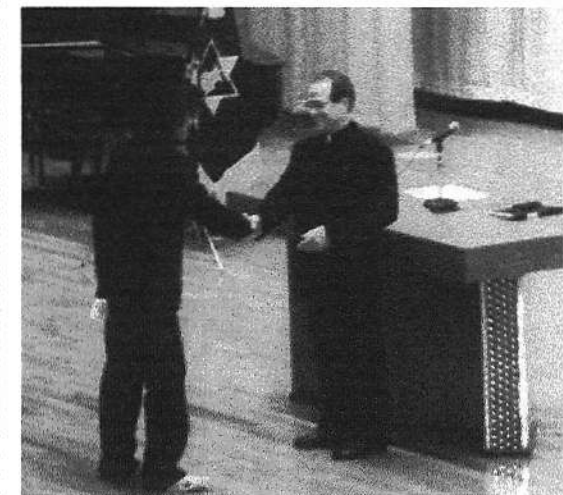
Step By Step. Reach Your Mission

四十五期生 洛星を巣立つ



発行
洛星新聞局
☎ (463) 3281(代)
印刷/有片桐輕印刷

去る二月七日(木)、一足早く春を迎えたような好天の下、京滋の高校のトップを切って第四十五回卒業式が行われた。聖体降福式に続いて行われた卒業式ではラバティ校長が「Step By Step Reach Your Mission」(目標をひとつひとつ達成し、自分の使命を果たしなさい)と卒業生へはなむけの言葉を贈った。その後も在校生、教職員、保護者が列席する荘厳な雰囲気の下、卒業証書授与、在校生総代宮本匠君による送辞、卒業生総代田中雄介君による答辞と続き四十五期生二百六十九名は洛星での思い出を胸に旅立っていった。



ラバティ校長の言葉

四十五期生の皆さん、卒業おめでとうございます。洛星での学校生活を振り返り、さまざまな事が思い出されることと思います。三年間又は六年間皆さん一人一人が努力し、大きく成長した姿を今ここにみる事が出来、私はとても嬉しく思います。本日、卒業式を迎えた皆さんに考えていただきたいことがあります。それは、皆さんの努力は勿論のことですが、周囲による理解者がいなかったら、ここまで頑張ったことが出来たでしょうか。

かどうかということですが、今日のこの日を迎えることができたのも、保護者の皆様をはじめ、先生方に見守られ、また、友達の大きな協力があつたからだということを決して忘れないで下さい。今まで自分を育てて下さった人々に、心からの感謝の気持ちを捧げて頂きたいと思ひます。

皆さんが母校である洛星から巣立ってゆく前に、次の言葉を覚えて頂きたいと思ひます。

「Step By Step Reach Your Mission」目標をひとつひとつ達成し、自分の使命を果たしなさい、という意味です。リーダーになるためには、いろいろなステップがあります。各ステップが大事であるという事は言うまでもありません。一つのステップでも生かせる仕事、天職と呼べるものに出会う努力をして

在校生送辞

四十五期生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。僕自身、皆さんとは学年が一つ違いで最も親しみやすかった先輩達だったと思います。皆さんから受けた影響は非常に大きかったです。

僕が最も感じた四十五期生の皆さんの存在の大きさは、一つとして昨年の文化祭の合唱をあげさせて頂きました。僕達は「打倒高三」を

進んでいくことはできません。念入りの準備をしていても、いろいろな問題にぶつかることがあるでしょう。その時に人の話を聞いたり、考え直したりしていくことが、君たちを成長させるのです。このようにステップは、社会人として仕事をし、生活をしていくために不可欠なことであるともいえるのです。これから皆さんが自分の使命を達成するために、いろいろなステップがやってきます。これは皆さんの最終目標ではなく、ひとつのステップです。大学に入学してから、一日一日を大切に、すべきことを忘れないと思ひます。皆さん「Be ambitious」であってください。私たち一人一人は、神から与えられた可能性をもっています。それを生かせる仕事、天職と呼べるものに出会う努力をして

卒業生答辞

私たち四十五期生は、今日、卒業の日を迎え、慣れた光を人々の前に輝かしなさい。そうすれば人々はあなたの良い行いを見て天におられるあなたの父をほめたたえるであろう。」

「他者への配慮」を、私たちがこの言葉を、高校一年生の時から先生方に教わってきた。しかしその本当の意味を理解することができたのは、三年生になってからでした。自分の将来を考えた時に、「自分とは何か」と自問することを経験した。現在の自分とは他者によって作られているものである」と気付きました。つまり、私たちは常に、家族や友人や先生と接することで、影響を受け、変化し続けている存在であるということだ。

最後にマザー・テレサの祈りの中から次の一節を紹介して、卒業の言葉とさせていただきます。

「私が自分のことしか頭になく、他人の心は他人にないとき、私の心が他人に届くように。」

平成十四年二月七日
第四十五期卒業生
総代 田中 雄介

衣笠

学校の卒業式などの式典に決して外される事のないものがある。国歌斉唱である。昔前に、是非が問われる議論がなされ、その時肯定的な声が大きかったためか、我が校の今年の卒業式においても、例年と同じく沈黙を保つものが少なくなかった。しかし、「何故か」と聞いた時、多くの者は「天皇を崇拝する歌だから」とか、「歌うのは右翼だから」とかという返答がよく聞かれた。そこで、そういって彼らが自分たちの意見であるかと聞くと、答えは多くの場合、否である。なぜそう言えるのか、と聞くところから、と答えるのは「議論から逃げている」とみられる意見を多々聞く。自分とその周りの人間が同意見であるから、それは常識であった、そう考えない人間は非常識であるという判断。日本には他人に合わせるおかしな物として、はつきりとした物言いをしない傾向があるという話はよく耳にする。民主主義の根底にあるのは多数決原理であり我が国が民主主義であることは否定できない事実であるが、流動的な言動は数の暴力を生み出すだけのものである。ならば、人の話を聴き取らず、それについて自分でも思考を重ね、疑い、そして自分の意見をはっきり持つという事が必要である。社会全体がそのようであるならば、物事を進める上においてはそれが円滑に進行するとは必ずしも言い難いが、社会が活発になることは間違いなくであろう。その上で他人とどの調和、協調を考へていけば良いのだ。自論を持つだけの知識と判断力を持つこと。今の日本人にそれが必要なのだ。

A 組

生きろ
阿波 友雄
みんないい人でした。
楽しい3年間をありがとう
藤田 朋久
歳月流々年月不動 昇月転
々々華不変 花原 昇平
大学が一つなら、みんな一
緒なのになー 原 庸介
多くを学んだ実りある三年
間でした 平沼 仁詩
僕 息子を洛星に入れます
平松 了
よくがんばったと思った。

B 組

卒業できてよかった。
成せば成る、成さねば成ら
ぬ何事も。岡村 岳史
人生逃げ場なし
大島 聡
思い上がりより醜いものは
知らない。大矢 規夫
東へ旅立ちます。ゆくゆく
は海外へ！ 坂 俊多郎
洛星は平和なやな。

C 組

時間を大切にしよう(あら
ゆる意味で) 有吉 要輔
現役合格したかった……
…… 藤野 重人
勉強が嫌になったら自転車
で旅に出よう 福本 亘
長くて短い6年だった。
井出 正造
忘れられない6年間となっ
た。石川 孝仁
始めるのが遅かった。月影
を愛する者 伊藤 潤
充実した3年間だった
リヨンホール？なんじゃそ
りゃ？ 革嶋 洋志
色んな意味で濃い6年やっ
たわ…… 紀伊 光
人生は一回性です。がんば
ろう！ 小泉 潮
一番大切なのは、自分を信
じる事です。今野美知輝
春には自由になれるはず。
桑原 謙典
日々精進 南野 研人
新校舎使いたい 三輪 一翔
合格率100%のWカップの
優勝確率 宮川 博光
自分は自分と信じるから、
自信。満部 文彬

E 組

人生はまだ長い
明日に向かって走れ
新木 都生
セブンイヤーズ インラ
クセイ 谷垣 俊行
シャカリキがんばろう。
新築校舎使いたかったなあ
45期生の 内田 晶久
サイコロオに賭けてヤッた
アア!! 上田 智基
洛星で楽しめ 植松 圭吾
思ったのが吉日……
たたきつづきの。植村 辰一
感動する心、創造する力を
大切に！ 山根 達也
ほんわかっぱ ほんわか
ぱっぱ 安池 政志
洛星マンセー 桑吉田 直也
明日があるさ。曾根田俊之
あんじよう勉強せよ。
早川 真人
まだレースは始まったばか
りだ！ 東 晃太郎
来年は君達がライバルだ。
ハハハハハ 堀中 昭良
3年間で男子校に慣れてし
まった。池田 浩司
教師も含めて非常に個性的
な人達でした。岩田 和也
センターなめたらアカン！
片山 幹基
フアイトー！ 木村 英雄
イッパツ!! 木村 公俊
卒業まで部がもってホンマ
に良かった。近藤 智
一生佐野を愛す。熊本 哲也
人生時の運 前川 和和
神の愛星降る如き春を呼べ
!!(祈合格) 益谷 康之
成せば成る 水着一枚あれ
ばいい 松田 光平
西大路通り仁王立ちした男
松谷 裕貴
制服も最後と思うと、感慨
も一入。三上 勇人
来年の今頃は、きつと……
…… 峯浦 一貴
正しいと思うことをする大
人になる。宮下 脩平
ニイタカマノボレ 水越 彬文
今度はアフリカ 森田 悦充
目指せ！理想の裏方 向井 清史

F 組

制服は楽でよかった。
6年間楽しく過ごせて幸せ
です。福井 章人
殿に幸せと平穩の日々が訪
れますように。古川 匡
世界が私の思い通りになり
ますように。橋川 淳
短かった高校生活3年間。
「時のハエは 矢を好む」
堀口 和孝
卒業したら普通の男の子に
戻ります！ 堀内 大介
あきらめられませんが、勝つ
までは。生田 泰久
学業とは授業中に眠らぬこ
ととみつたり尹 洋志
将来(ゆめ)で会おうぜ。
石川理一登
ほんとに楽しく飽きない三
年間でした。金岡 景輝
Je pense, donc Je suis.
片岡 尚之
長いようで短い6年間でし
た。大竹 香太
愛の翼で飛べ、飛べない豚
はたの豚だ 佐々木皓亮
己乃命悼しく、此乃世は修
羅乃国…… 篠田 剛史

ありがとう
洛 星

D 組

「ローマは一日にして成ら
ず。」 安部倫太郎
少年老い易く、学成り難し
やなあ。磯久 五郎
あつというまの6年間だっ
た。岩知道武宏
6年間青春を全うした!!
ぼーいず びー あんびし
やす 神谷 諭
人生には、山あり、谷あり
ボクは飛べないの、ただ
のブタです。金城 孝則
だいたい2つは絞れるん
だいなあ。子安 翔
高校卒業、未だ覚メ池塘
春草ノ夢…… 栗山 実
失敗しても後悔するよう
な事をする。桑原 世輝
学校どこ？えっ洛星!!マジ
で!!…… 前田 崇雄
生き急ぐように身を焦がし
て 平岡 則務
楽しい3年間だった 本田俊一郎
人生やり直しが効かんもん
やなあ。磯久 五郎
あつというまの6年間だっ
た。岩知道武宏
6年間青春を全うした!!
ぼーいず びー あんびし
やす 神谷 諭
人生には、山あり、谷あり
ボクは飛べないの、ただ
のブタです。金城 孝則
だいたい2つは絞れるん
だいなあ。子安 翔
高校卒業、未だ覚メ池塘
春草ノ夢…… 栗山 実
失敗しても後悔するよう
な事をする。桑原 世輝
学校どこ？えっ洛星!!マジ
で!!…… 前田 崇雄



6年間長かった
洛星高校は本当に世界一の
学校でした。成相 寿一
六年間ともお腹がいたか
ったです。西畑 学司
村上 純一
村山 純一
松井 豊仁
松本 修典
松山 隼志
三鍋 太朗

あつという間の三年で、楽
しかった。勝部 泰行
デブだがメガネでした。
川村 亮
勉強やスポーツ、充実した
六年でした。木下 博之
カズ日本代表復帰!!
老練伏魔志在千里 烈士暮
年壮心不已 松井 豊仁
変な名前と呼ばれ続けた
日々…… 松本 修典
伊達君、東京に呼んでね。
短くも長かった六年間であ
りました。三鍋 太朗



楽しい三年間だった。あり
がとう！ 高野 智章
脱出遊覧&突入大穴+α
野中 優介
スポーツはすばらしい
将来、どこかでまた、めぐ
り会おう。富永 周佑
くえるときにくえ
6年間で得た絆以上のもの
ってない 山田 龍介



洛星で得た誇りを持ち続け
ていきたい。喜田 龍一
ただただ感謝です。
短い3年間だったけど思い
出です。古木 卓真
人の持つ正の感情の可能性
を信じた。久米 洋平
あつという間の三年間だっ
た。三原 惇
なるようになるさ!!
二次で挽回してみせる!!
やれるときにやる 宮川 雅好
ピンチはチャンス。卒業後
も頑張るぞ！ 内藤 裕之
何事も悔いを残さず、諦め
ず!! 中谷 秀徳
笑止 西角 章
この6年間で将来の宝にな
る事を願う。小貫 進
VIVA・ワールドカップ、
長いようで短い6年間でし
た。大竹 香太
愛の翼で飛べ、飛べない豚
はたの豚だ 佐々木皓亮
己乃命悼しく、此乃世は修
羅乃国…… 篠田 剛史

A 藤原 義久



遊びに燃えた人。意外な隠し芸のある人。一目置かれていた人。話をやめた人。大いに騒いでみんなを盛り上げた人。落ち着きのない人。大人しい人。男気のある人。オリジナルのCDを作った人。楽器を愛した人。学校でいつも自習した人。合唱をまとめた人。彼女ができた人。キャッチボールの好きな人。教師としての好きが好きな人。教師の雑誌やギャグに密かに笑いを浮かべていた人。教師より教師らしい人。教師をシニカルな目で見ていた人。行事の好きな人。芸術の道を進んだ人。下宿で頑張った人。元気のいい人。甲子園を目指した人。後輩を良く指導した人。黒板の掃除の得意な人。自分で論述問題を作った人。自分の信念を貫いた人。スポーツに打ち込んだ人。ジャパンフロアの駐車場で盛り上がった人。社会への問題意識を高めた人。十二年も皆勤して人。授業中いつも寝ていた人。授業をエスケープしかけた人。受験勉強をしない人。将棋の好きな人。進路に悩んだ人。すぐ足の早い人。責任感

B 西川 兼司



「巧詐は拙誠に如かず」卒業パーティ後のロビーで何人かに、何か一言と頼まれました。咄嗟に思い浮

の強い人。センター五五〇点でいいのに世界史を頑張った人。卒業アルバムを作った人。卒業生の言葉で大いに悩んだ人。大講堂で行事があると血が騒ぐ人。武富士を踊った人。タブローに燃えた人。追試に苦しんだ人。遠い所から通った人。図書館に通った人。友達が多い人。土曜講座を企画した人。殴られやすい人。七年間頑張った人。人間的に成長した人。野付でカニを拾った人。ハエを研究した人。花火を学校でした人。バランスのとれた人。反響板を立てた人。ピンクハウズで輪投げをした人。文系だけ理系に行った人。勉強した人。ホッカイシマエビを試食した人。ホームベースを作った人。本をすぐ読む人。毎日遅刻せず、頑張った人。皆勤した人。マイペースの人。真面目な人。優しくて人に愛された人。よく遅刻した人。留学した人。旅行のおりを作った人。担任の二年間を思い起こ

C 岸根 誠



寺田寅彦の「科学者とあたま」という文章がある。科学者になるには「あたま」がよくなくてはならないといわれるが、一方でまた、「あたま」が悪くなくてはならない、という逆説的な指摘である。学生の頃、印象深い視点を与えてくれた文章である。

は、子鹿を母鹿に返してしまふ。それを知った孟孫は激昂して秦西巴を追放してしまふ。君たちはこの二人の人物の行動をどう見るでしょう。息子の肉を口にした秦羊は文侯からほうびをもらいます。その後文侯からその人間性を疑われることになり。一方主人の命に背いて子鹿を放してしまつた秦西巴は、まもなく孟孫に召し返されて孟孫の息子の教育係に任命されることになりました。

卒業生へ贈る言葉
「ハリー、よくお聞き。サラザール・スリザリンが自ら選び抜いた生徒は、スリザリンが誇りに思っている。君もまたたまさういう素質を持っている。スリザリン自身のまにみる能力である蛇語：機知に富む才知：断固たる決意：やや規則を無視する傾向」ダンブルドアはまた口髭をいたずらっぽく震わせた。「(中略)「ハリー、自分がほん

の価値を支配するものではない」という意味合いでは、語気のきつさはあるが「勉強しなくてもいい」という主張も、まじめに勉強もし、多彩な個性を発揮した人から発せられたのであれば、価値観を絶対視してはならないとのメッセージとも言えるのではなかろうか。

「紫明通りから眺める比叡山はきれい」というとき、東山連峰の中でどこからどこまでを比叡山と認めるのか、会話の主の間で認識の一致はどこまであるのだろうか。そのように境界は曖昧なものである。それは、具体的なものに留まらず、もとの善し悪しについていえるものではなないか。「勉強は人生において大切なものである」ということは変わりなくとも、「勉強は人生において全て

四十五期生のみなさん、卒業おめでとうございませう。僕にとっては、初めての教員になって、初めて教えた学年で、初めて担任を持った学年でもあった学年です。思い入れが強く、僕なりに一生懸命頑張ったつもりですが、失敗も多く、迷惑かけっぱなし、時には「他者への配慮」をせず自分中心に考えていたときもあり、本当にごめんなさい。今振り返って考えると君らに対して教師らしいことができたかなと考えています。研

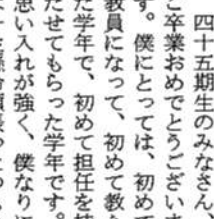
「チリも教えれば」となると、なぜか聞かれてもうまく返答できないのだが、地理を教えることは大好きである。教員生活十年を経た今、ようやくその理由を具体的にあげることができるようになったように思う。地理教育で環境問題をあつかうことは、危機に瀕する地球の未来を考えることである。地域紛争をあつかることは、世界の平和を考えることである。立地論をあつかうことは合理的な空間利用を考えることであり、それは快適で豊かな生活を送ることにつながる。授業で教えられる内容は基礎的事項中心であり、「環境問題の解決策」や「世界平和の確立の手順」を教えることはまったくできない。しかし、地理の授業で習った問題意識を発展させ、地球環境問題や世界平和に貢献する人材は必ず育ってくる

と信じている。そう思いながら授業ができる。だから地理教育が好きなのである。曲解の部分もあるが、哲学者カントが「人間の健全な悟性(良識)を地理学以上によりよく養育せられるのは何もない」として地理学の講義を永年担当した理由もおぼろげながらみえてきたように思える。

「偏差値」だけ高く、常識・正義感・倫理観に欠ける人間にはなつて欲しくない。洛星は、地球の未来を憂い、国際社会で貢献する人材を多数輩出する学校であつて欲しい。四十五期生にもその期待を強く抱いている。幸い、四十五期生にはそのような期待に答えてくれる素質を備えた人材がたくさん育つたように感じている。



E 石橋 和幸



四十五期生のみなさん、卒業おめでとうございませう。僕にとっては、初めての教員になって、初めて教えた学年で、初めて担任を持った学年でもあった学年です。思い入れが強く、僕なりに一生懸命頑張ったつもりですが、失敗も多く、迷惑かけっぱなし、時には「他者への配慮」をせず自分中心に考えていたときもあり、本当にごめんなさい。今振り返って考えると君らに対して教師らしいことができたかなと考えています。研

「チリも教えれば」となると、なぜか聞かれてもうまく返答できないのだが、地理を教えることは大好きである。教員生活十年を経た今、ようやくその理由を具体的にあげることができるようになったように思う。地理教育で環境問題をあつかうことは、危機に瀕する地球の未来を考えることである。地域紛争をあつかることは、世界の平和を考えることである。立地論をあつかうことは合理的な空間利用を考えることであり、それは快適で豊かな生活を送ることにつながる。授業で教えられる内容は基礎的事項中心であり、「環境問題の解決策」や「世界平和の確立の手順」を教えることはまったくできない。しかし、地理の授業で習った問題意識を発展させ、地球環境問題や世界平和に貢献する人材は必ず育ってくる

と信じている。そう思いながら授業ができる。だから地理教育が好きなのである。曲解の部分もあるが、哲学者カントが「人間の健全な悟性(良識)を地理学以上によりよく養育せられるのは何もない」として地理学の講義を永年担当した理由もおぼろげながらみえてきたように思える。

「偏差値」だけ高く、常識・正義感・倫理観に欠ける人間にはなつて欲しくない。洛星は、地球の未来を憂い、国際社会で貢献する人材を多数輩出する学校であつて欲しい。四十五期生にもその期待を強く抱いている。幸い、四十五期生にはそのような期待に答えてくれる素質を備えた人材がたくさん育つたように感じている。



F 徳安 浩明



四十五期生のみなさん、卒業おめでとうございませう。僕にとっては、初めての教員になって、初めて教えた学年で、初めて担任を持った学年でもあった学年です。思い入れが強く、僕なりに一生懸命頑張ったつもりですが、失敗も多く、迷惑かけっぱなし、時には「他者への配慮」をせず自分中心に考えていたときもあり、本当にごめんなさい。今振り返って考えると君らに対して教師らしいことができたかなと考えています。研

「チリも教えれば」となると、なぜか聞かれてもうまく返答できないのだが、地理を教えることは大好きである。教員生活十年を経た今、ようやくその理由を具体的にあげることができるようになったように思う。地理教育で環境問題をあつかうことは、危機に瀕する地球の未来を考えることである。地域紛争をあつかることは、世界の平和を考えることである。立地論をあつかうことは合理的な空間利用を考えることであり、それは快適で豊かな生活を送ることにつながる。授業で教えられる内容は基礎的事項中心であり、「環境問題の解決策」や「世界平和の確立の手順」を教えることはまったくできない。しかし、地理の授業で習った問題意識を発展させ、地球環境問題や世界平和に貢献する人材は必ず育ってくる

と信じている。そう思いながら授業ができる。だから地理教育が好きなのである。曲解の部分もあるが、哲学者カントが「人間の健全な悟性(良識)を地理学以上によりよく養育せられるのは何もない」として地理学の講義を永年担当した理由もおぼろげながらみえてきたように思える。

「偏差値」だけ高く、常識・正義感・倫理観に欠ける人間にはなつて欲しくない。洛星は、地球の未来を憂い、国際社会で貢献する人材を多数輩出する学校であつて欲しい。四十五期生にもその期待を強く抱いている。幸い、四十五期生にはそのような期待に答えてくれる素質を備えた人材がたくさん育つたように感じている。



青春の炎を燃やし諸行事終了

第五十回文化祭 ~Now or Never~

1 チャレンジクッキング	「うまか亭」
2 模擬店	優秀賞 「踊る前田御殿」 陸上部 最優良賞 「亜米利加犬」 バドミントン部
3 演劇	中学アカデミー賞 中3 学年演劇 グランプリ 高2 学年演劇 審査員奨励賞 中1 学年演劇 舞台演出賞 高1 学年演劇 演技賞 中1D 芳田 雄貴 君 高2B 藤井 俊 君
4 展示学年部門	優良賞 中1 学年展示 最優秀賞 高1 学年展示
展示クラブ部門	優良賞 信者宗研 優秀賞 地理部・マイコン同好会 最優秀賞 生物部
5 中学合唱	優良賞 中1B・中1C・中3D 優秀賞 中3B 最優秀賞 中2B
高校合唱	優良賞 高3A・高3D 優秀賞 高3B・高3C・高3F 最優秀賞 高3E 審査員特別賞 高1D・高2A・高2B



昨年度から二・三日前の二日間、本校舎とグラウンドの間の今小路通を歩行者専用道路とし、従来の中庭のみで開催していた模範店を拡充、通りにテナントが立ち並んだ。そして、正午過ぎには大講堂へ本校舎間の移動が困難になるほどの盛況ぶりとなった。この企画は成功であったといえよう。

さて、従来のイベントとしては演劇や展示で新

らびに高三校舎と会場が大きく二分されるという未だかつてない形で文化祭の開催となり、前日の移動準備作業等は大きなトラブルは発生しなかったが、特に校舎内を使用する企画の団体にとっては事前計画に苦労したことだろう。

一方今年度文化祭は五十周年ということもあり特別企画も組まれた。そのひとつは文芸(文化祭企画委員会)の企画として三日目午前に行われた「高校生のための朝日文化セミナー」すきやまこいし氏講演会(朝日新聞社主催)である。本校生や外来の方など約六百人が来場した大講堂では講演のほか、本校オーケストラ部によるすきやま氏の代表作「ドラゴンクエスト」の演奏の指揮を自らとられ、存分に楽しめる内容だった。また、その後も部活動の演奏会や展示会場の見学など文化祭を満喫さ



たな取り組みが見られた。演劇ではミュージカルのスタイルをとった中一学年演劇「注文の多い料理店」や視覚覚醒教室でおこなわれた高二学年演劇「今は昔、栄義映画館」などがあげられる。そして展示では約百三十名が演劇と同テーマの貼り絵に取り組んだ中一学年

た。デコレーションは準備期間が一週間しかなく、さらに校舎移転工事のためビロティが使えず、製作には非常に苦労したにもかかわらず、どのクラスもとてもすばらしい出来であった。競技の優勝は中学がCクラス、高校がFクラスであった。中学の方も高校の方も最後に、他のクラスが追いつけず、逆転するかの声があがった盛り上がりを見せた。と言うのも、中学の学年別リレーと合同リレーの第一位のクラスに優勝クラスのCクラスの名前はなかったからである。高校の学年別リレーの第一位に優勝クラスのFクラスの名前はなかったためである。リレーは点数が高くて、競技の最後は、見所でもあるのでグラウンドは、大きな歓声とあふれんばかりの熱気に満ちた。



昨日の大会、これは、野球部の三年生にとって最後の大会で、その頃二年だった僕にとっても何か迫るものを感じていたのを覚えています。この大会は、今までで一番盛り上がった大会で、大会前から大勢の観客が集まり、試合は白熱した。結果だけを見れば、負け、しかし言葉では表現できないほどの努力、最後の最後まで諦めない勝利への執念など、三年生の洛星高校に入ってからこの試合までの全てが、また僕達下級生の強い思いが、存在しているのだ。

試合後の自然と溢れ出る、くやし涙、こそが「やるべきことはやっていたんだ、戦ったんだ」ということの何よりも証拠ではないかと僕は思います。

くも逃げ切りました。ここでもようやく春季大会の記録に並ぶベスト八。しかし、次の相手は、最大の敵である、鳥羽高校。でした。この壁を超えるために、三年生、そして上級生を支える後進下級生も必死の思いで練習を積み重ねてきたと言っても過言ではありません。そのため、試合前夜は不安と緊張のあまり僕自身なかなか寝付けませんでした。

試合当日、様々な修羅場を切り抜けてきた先輩達さえも今回は表情は堅く、かなり緊張しているようでした。(おそらく僕が一番顔がひきつっていたとは思いますが。)

展示や会場でビンゴ大会をおこなったESSなどがあげられる。その他の団体・企画も個性あふれるものが多く充実したものであった。一方、合唱も高校を中心として今年度もハイレベルなものとなり、高校では優良、最優秀の各賞を高三が独占するなどやはり強さをみせた。審査員特別賞が高1D・高2A・Bに与えられるなど他学年・クラスも奮闘した。中学では中2Bの最優秀賞を筆頭に中1中2の頑張りが目立った。各部門の各賞の受賞者は上のとおり。(閉会式表参照)

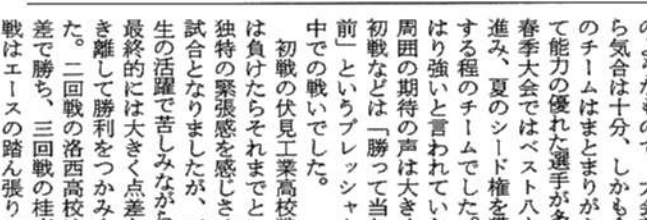


さて、無事に終了した今年度の文化祭であるがやはり一日目の企画内容のさながら充実を望みたいものだ。一日目は本校生がほとんどなので生徒向けの企画の充実が求められる。実際、「一日目はつまらない」という意見も当日聞かれた。全員参加の行事としては最大規模である文化祭であるだけに文芸・生徒会・そして全校生徒が一丸となって新たな五十一周年目を迎える文化祭へと向かって行きたいものだ。



昨日の大会、これは、野球部の三年生にとって最後の大会で、その頃二年だった僕にとっても何か迫るものを感じていたのを覚えています。この大会は、今までで一番盛り上がった大会で、大会前から大勢の観客が集まり、試合は白熱した。結果だけを見れば、負け、しかし言葉では表現できないほどの努力、最後の最後まで諦めない勝利への執念など、三年生の洛星高校に入ってからこの試合までの全てが、また僕達下級生の強い思いが、存在しているのだ。

試合後の自然と溢れ出る、くやし涙、こそが「やるべきことはやっていたんだ、戦ったんだ」ということの何よりも証拠ではないかと僕は思います。



昨日の大会、これは、野球部の三年生にとって最後の大会で、その頃二年だった僕にとっても何か迫るものを感じていたのを覚えています。この大会は、今までで一番盛り上がった大会で、大会前から大勢の観客が集まり、試合は白熱した。結果だけを見れば、負け、しかし言葉では表現できないほどの努力、最後の最後まで諦めない勝利への執念など、三年生の洛星高校に入ってからこの試合までの全てが、また僕達下級生の強い思いが、存在しているのだ。

試合後の自然と溢れ出る、くやし涙、こそが「やるべきことはやっていたんだ、戦ったんだ」ということの何よりも証拠ではないかと僕は思います。

くも逃げ切りました。ここでもようやく春季大会の記録に並ぶベスト八。しかし、次の相手は、最大の敵である、鳥羽高校。でした。この壁を超えるために、三年生、そして上級生を支える後進下級生も必死の思いで練習を積み重ねてきたと言っても過言ではありません。そのため、試合前夜は不安と緊張のあまり僕自身なかなか寝付けませんでした。

試合当日、様々な修羅場を切り抜けてきた先輩達さえも今回は表情は堅く、かなり緊張しているようでした。(おそらく僕が一番顔がひきつっていたとは思いますが。)

熱闘西京極

昨日の大会、これは、野球部の三年生にとって最後の大会で、その頃二年だった僕にとっても何か迫るものを感じていたのを覚えています。この大会は、今までで一番盛り上がった大会で、大会前から大勢の観客が集まり、試合は白熱した。結果だけを見れば、負け、しかし言葉では表現できないほどの努力、最後の最後まで諦めない勝利への執念など、三年生の洛星高校に入ってからこの試合までの全てが、また僕達下級生の強い思いが、存在しているのだ。

試合後の自然と溢れ出る、くやし涙、こそが「やるべきことはやっていたんだ、戦ったんだ」ということの何よりも証拠ではないかと僕は思います。

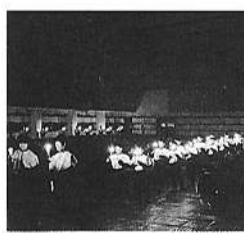
くも逃げ切りました。ここでもようやく春季大会の記録に並ぶベスト八。しかし、次の相手は、最大の敵である、鳥羽高校。でした。この壁を超えるために、三年生、そして上級生を支える後進下級生も必死の思いで練習を積み重ねてきたと言っても過言ではありません。そのため、試合前夜は不安と緊張のあまり僕自身なかなか寝付けませんでした。

試合当日、様々な修羅場を切り抜けてきた先輩達さえも今回は表情は堅く、かなり緊張しているようでした。(おそらく僕が一番顔がひきつっていたとは思いますが。)

一年を振り返って

クリスマススタブロー大成功

昨年十二月二十三日、本校大講堂で Christmas Tableaux が行われ、開演三十分前の三時半には既に長蛇の列ができていた。四時五十分、場内灯が消え、高校聖歌隊による「美しく待ちし」が歌われる。暗闇の中、聖歌が歌い終わっ



る。預言者は預言する。「一人の聖子が生まれる」と。み民を救う救世主が現れると。預言が終わると、鐘が鳴る。それと同時に真ん中から左右等しくうそくが消えていく。そして、中学聖歌隊による「朝日は昇りて」が歌われる。そのころ舞台は新たな幕を迎えていた。

マリヤという乙女がいた。大天使ガブリエルとその使いがやって来る。彼女が神に祝福され、神の恵みを受けた事を伝えるために。そして、彼女が身ごもって男の子を産む事を、そしてその子をイエズスと名づける事を伝えるために。マリヤはその言葉に従うことを誓う。

マリヤには許婚がいて、その名をヨゼフといった。彼はマリヤが身ごもっている事を知り、世間の目から彼女を守るために、ひそかに離別しようとしていた。彼がそうしたことを考えていた時、突然夢の中にガブリエルが現れる。ガブリエルはマリヤが聖霊によって身ごもっていることをヨゼフに告げた。そして、ため

た後、富山先生、校長先生、生徒代表の挨拶。挨拶が終るとBGM「Ave Maria」と共に中学聖歌隊が入堂してくる。一人一人、白いケープをつけ、ロウソクを持ち、ゆつくりと、入堂する。彼らが位置につくと、校長先生と共に祈りがあげられる。コントローラールームから「イザヤの書」が読みあげられる。「主は私を遣わした」。いよいよ幕があがり、舞台が始まる。

BGMにあわせて朗読者の語りが雰囲気盛り上げ



らわずにマリヤを妻として迎える事を勧める。目覚めたヨゼフはその言葉に従い、妻のマリヤを迎え入れた。



その頃、ローマ皇帝アウグストから人口調査のため、ローマ全土の住民に登録をさせる勅令が出た。ヨゼフはダヴィッド家の血筋だった

ので既に身ごもっていた妻のマリヤと共にベトレヘムに向かった。

ベトレヘム周辺には夜野宿して羊の群れを牧する羊飼いがいた。ガブリエルとその使い達は彼らに救い主が生まれる事を告げる。彼らはその言葉を聞き、神を崇めて賛美した。

ドラが鳴り響く。壮大なBGMと共に三博士とその従者が入堂し始める。曲にあわせて入堂する様は美しい。幕があがり博士達が舞台に登場したところでBGMが変わり、聖書朗読が読まれる。博士達は新たな王はどこに生まれるのか、と王に聞きにくる。王は博士達に見つけたら自分に教えてほしい、私もその子を探そうという博士達を送り出した。ところが、新しい王の誕生を恐れた王はベトレヘムとその付近にいる二歳以下の男の子を皆殺しにしようとして兵を送った。

送り出された博士達は新

東校舎竣工

洛星に新しい校舎が完成した。二〇〇二年一月十二日。本校新校舎、「東校舎」の竣工式が行われ、多くの洛星関係者が参列した。昨年三月の着工から、実に十ヶ月の期間を経て完成した新校舎には一月より、高校二年生、中学三年生、二年生が入り、来年度にもそのまま継続される。

ここで生徒にとつての大きな変更点を見てみると、まず、机が変わった事があげられるだろう。というのも、今まで授業の邪魔となっていた柱が教室から取り除かれ、さらに教室が大きくなっている。机も全て一新して以前の物より大きくなっている。またイスも



しい王の誕生を暗示する前に見た星をもう一度見た。彼らはそれを見て誕生を確信し、御子のもとへ向かった。ここで阿南先生による、祈りが行われ、静寂の中、静かに阿南先生の声だけが聞かれた。

馬小屋にはヨゼフ、マリヤ、そしてお生まれになったイエズス。そのもとに村人や羊飼いが訪れる。御子の様子が天使から聞いたとおりだったので、彼らは神を崇めて賛美した。御子のもとに子供達が現れる。そして何も贈るものがない彼らはダンスを始める。音楽とちょうど調和したそのダンスはともにも美しい。ダンスが終了すると博士達が現れる。彼らはその手に黄金と乳香と没薬(もつやく)とを持ち、御子に捧げた。このときには高校聖歌隊による「我らは来たりぬ」が歌われ曲にあわせて博士達がやってくる。「我らは来たりぬ」の二、四番のメロの部分はソロでその歌声は胸に響くものがある。歌が終わると、ハンドベルと

ぐらつかない物にとつて変わられ、よりよく授業を受けることができる。

つぎに、全ての教室にロッカーが備え付けられたという事が挙げられる。靴箱とは別にカギ付きの以前より大きなロッカーを生徒一人一人が使えるようになったのである。これによって、

社会科などの資料集や辞書などが置けるようになった。最後に、新しく出来た食堂について。食堂(リヨンホール)のメニューなどは食堂のときのままであったが、やはり広いスペースは落ち着く。昔のメニューが戻るのには来年三月だそう

だ。しかし、まだ新校舎で授業を受けられない学年もある。旧高校舎の建て壊しは終了し、西校舎の完成は二〇〇三年三月の予定。順調に工事が進む事を祈ろう。

高校聖歌隊による「神の御子は」が歌われ幕が閉じ舞台は終局を迎える。歌が終わると「O Holy Night」とともに中学聖歌隊が退堂する。Tableauxの終わりを告げるこの曲は言葉には決してあらわせない感情を与え、場内灯が点けられる。今年、例年に比べて練習期間が一日短かったことでスタッフ・キャストは猛練習を強いられた。そして、すばらしい「Tableaux」が完成した。今年もいくつかの点が改善された。まず、大講堂を聖堂のような雰囲気仕立て上げるために講堂の前後左右にロウソクを並べたことだ。かなり聖堂の感じが出ていたと思う。もうひとつはBGMの変更である。BGMは聖書朗読との兼ね合いや「Tableaux」全体の雰囲気にかかわる重要な役割を果たす。三博士が王に謁見されたところのBGMが変更されたが、とてもよい選曲で、策謀を巡らす王の心のうちが良く現れている。

Christmas Tableauxは



中三・高二研修旅行

六月二十四日～二十九日まで六日間高校二年(四十六期)の研修旅行が行われた。行き先方面や日数には変更

がなかったものの道内の移動が従来のバス移動から一部が鉄道移動に、また近年流行の「体験型旅行」として、屈斜路湖のカヌー体験がコース別研修に加わるなど行程はより充実したものとなった。特に道内の鉄道移動に際しては団体貸切列車(六両)が運行され、先頭には洛星の校章をあしらったヘッドマークが掲出

一方、実施が九月から一月に変更されて三年目となった中三研修旅行でも三日目の行程に一部修正が加えられ、熊本城のかわりに柳川下りや組み込まれ、情緒ある舟下りを楽しんだ。しかし、天候には恵まれたものの風向その他の理由で阿蘇山火口展望ができなかったのは残念であった。(行程)一日目 京都・博多

長崎―二十六聖人殉教の地―平和公園―長崎(泊)二日目 長崎―一日研修―三日月 長崎―島原―柳川―阿蘇 四日目 阿蘇―草千里―博多―京都

中高入試行わる

本年度の中学および高校入試は昨年までとは大きく変わったところがあった。まず、募集人数の変化である。昨年まで中学が四クラス百八十名が五クラスになり定員二百二十五名で前期で百八十名、後期で四十五名。逆に高校は二クラス定員九十名が、一クラス四十五名に削減された。実施日は中学の前期試験が一月二十九日と三〇日。さらに後期試験は二月五日に行われ、また高校入試は二月九日一〇日に実施された。中学入試前期の受験者は四百二十名で、その内二百五十二名が合格し、倍率は一・六倍と二倍を切っていた。しかし、後期は二百五十二名が受験しその内四十二名が合格し、倍率六・〇倍と、高倍率となった。

前期後期両方、試験最終日の次の日に発表があり、合格受験番号の書かれた看板が立てられると、歓声の聲があがり、周囲はどよめきにあふれた。高校入試の受験者は七十一名だった。そして五十四名が合格し、倍率は一・三倍であった。

思う。昨年見る事ができなかった人は是非今年見て欲しい。または、スタッフとしてキャストとして参加するのも良いと思う。一つのものを作り上げる経験もまたすばらしいものだ。是非、参加して欲しい。



Who's this?

第22回



▶ヒント
今も昔も車好き...

長いキャリアの方は、三十年代もこの活動にたずさわっている。僕達を案内してくれてこの会のメンバーの方々は京都府内のホームレスの方々一人一人の顔や名前を覚えていて、その一人一人に適した言葉を選んで、声を掛けてくれる。そして、無理矢理押し付けることもなく、「差し入れますか?」

きかないですよ」という言葉が特に印象的だった。何かしてあげたいのに何もしてあげられない。悲しみ、怒り、絶望。そう思った思いが感じられ複雑な思いになった。しかし、それでも、この活動を通してホームレスの方々に何かしてあげたいという姿勢には感動を覚えた。またホームレス

する。世間ではいまだに危険な存在としてホームレスの方々を偏見と先入観のこもった目で見てくれている人が少なくない。しかし、ホームレスの方々は、世間で言われているような危険な存在ではないと思う。この不況の風を真っ先に受けさまさまな事情で、ホームレスという形になっただけで、決

のようにおこっていることを知った。ホームレスの方々に対する社会の偏見からこれからのことが生まれている。この偏見を無くすことがこれからの社会全体の課題だと思ふ。

このイベントに参加して学んだことを今後自分にとっての教訓としていきたい。

ボランティア夜回り報告 北沢 大志

「そこに日本の全てが見える。」この担任の児玉先生の大げさな名言(?)に興味を抱き、この夜回りに参加することに決めた。夜回りとは、ホームレスの方々の様子を夜に見て回り、対話を通してホームレスの方々を知るイベントで有志が集って結成されたNGOである「夜回りの会」が主催したものだ。この会には、大学生から中年の男性まで幅広い層の方が在籍し、

と確認したうえで、カイロとあたたかいお茶をホームレスの方々に差し上げて、雑談をかわしている。ホームレスの方々は朝から晩まで必死に働いて(アルミ缶を一キログラム集めると約六〇円の収入が得られる)、疲れているにもかかわらず、こやかな笑みを浮かべてこちらの訪問をあたたく迎えてくれた。そこでの会話のやりとりの中で「僕達には声をかけることしかで

の方々の年齢層も二〇歳から六〇歳と多岐にわたり、不精ひげを生やし、疲労に満ちた目、自分には想像できないような暗い過去を背負っているんだなと何か悲しい気持ちにかられた。

これまでにTVや新聞を通してホームレスの方々の様子を多少なりと心得ていたつもりだったが、今回の企画に参加して初めてその実態が分かったような気が

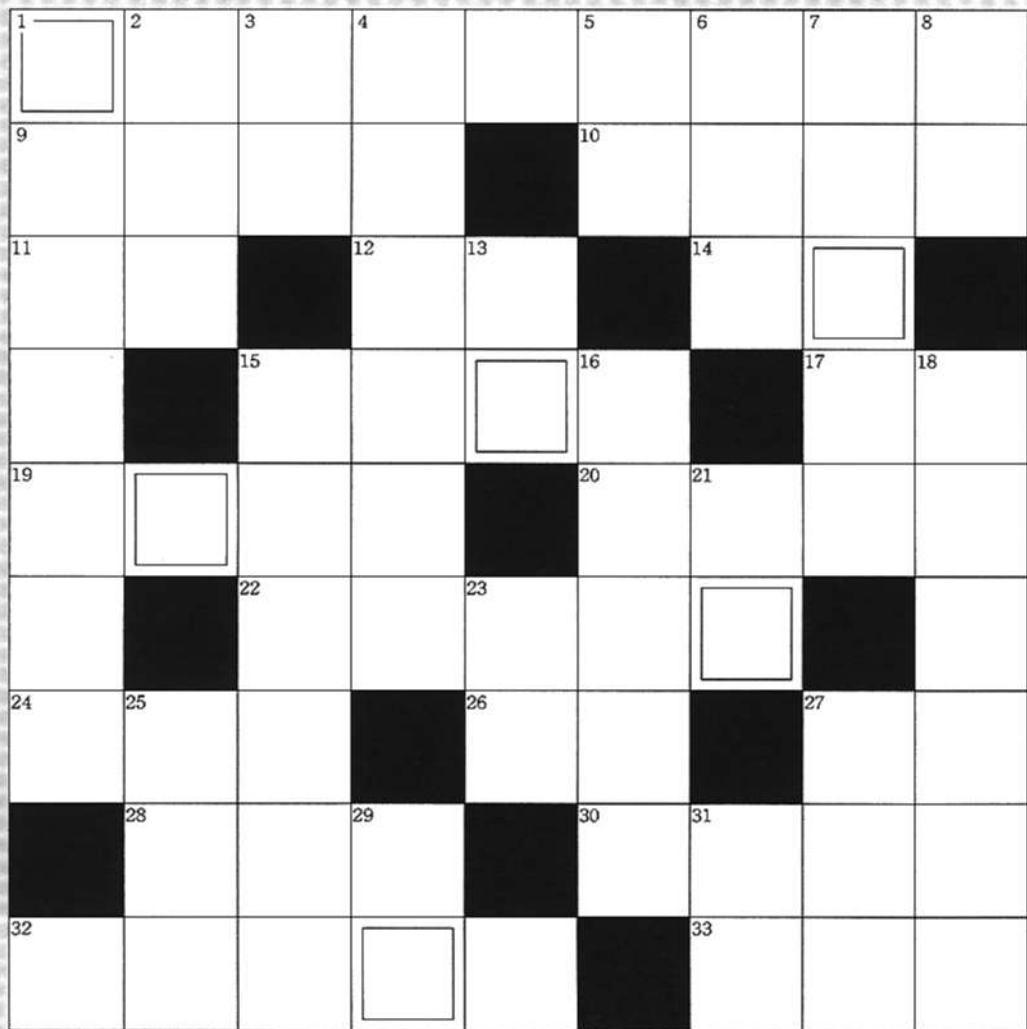
して望んでなかったわけではなく、一種の不可抗力的なものだ。ホームレスの方々の会話の中で、「普通の人が怖い」という発言があった。社会のゴミ掃除だという名目でホームレスの老人を川からつき落とすに死なせたりする事件は目に新しい。また、このように目立つ事件ばかりではなくホームレスの方々が罵倒したり、石を投げたり、殴打したりといった種類の事件は日常

新校舎竣工記念 What's this?



▶ヒント
「上を向いて歩こう」

クロスワードパズル



- 【タテのカギ】
1. 譲りましょう
 2. 「恐喝」の和語
 3. 家光の場合春日局
 4. 身動きが取れないこと
 5. 地球上の約二九%を占めている
 6. 不安が頭を...
 7. 非常に細かい雨
 8. 雨のよく降る季節
 13. カランコロンと鳴らす
 15. ロハ丁...
- 【ヨコのカギ】
1. 洛星では研修旅行
 19. 気を引き締めるときに
 17. はずれるとガッカリします
 33. 手紙における二人称の敬称
 16. 北米にある大瀑布
 18. 普通預金より少しは利息が高いが...
 21. パブル崩壊で暴落
 23. 町家が並ぶ
 25. 言葉を用いて他と区別
 27. 地球が研究対象です
 29. うまい!
 31. 花と根とのあいだに
 15. 懸賞をもらう力士が切るのは...
 17. はずれるとガッカリします
 33. 手紙における二人称の敬称
 9. 出かけるときに頼む
 10. テコの原理を使った大工道具
 11. のしること。〇〇雑言
 12. カッパではない
 14. 四福音書はマタイ、マルコ、ヨハネと...
 15. 懸賞をもらう力士が切るのは...
 17. はずれるとガッカリします
 33. 手紙における二人称の敬称
 20. 力を入れるところ
 20. 手当ての結果...をと
 22. 立派な人にあやかり、煎じて飲ませたい
 24. 帯広が中心都市の平野
 26. 食糧不足で...状態
 27. ...に八千代に
 28. 初めは...で煮ること
 30. 机には無数の...が
 32. 無鉄砲
 33. 手紙における二人称の敬称

編集後記

ここにいます。愛はまだここにいます。いつまでも空と君とのあいだには、今日も冷たい雨がふる。君が笑ってくれるなら僕は悪にもなる。

☆原稿を書きながら御世話になった中島みゆきの「空と君とのあいだに」のサビの部分で、聞く毎に何故か友人Sが思い浮かびます。友人Sと呼ぶには親密過ぎる仲の私とSとのあいだにこんな事があった訳ではないのですが何故か。距離があるから?と考へたりもしています。今一番、あいつに見せたい。【紫電の宝玉】

今つらかったことを思い出して、もうきつい仕事は今後決してするまいと思つて居る。しかし、いまから勉強もしないといきから試験および受験のよういをしたら、勉強しよう。ここが正念場である。戦おう。

◎この洛星新聞の情報量はどれくらいかご存知だろうか。今回は六面なので全部で四万二千四百八十文字つまり原稿用紙百枚以上となる。しかも自分が主体に参加したことを客観的に書くなんて...まあ、とにかく、この一六五号もまあ完成です。次は誰が作るのかな?では次号第二面でお会いしましょう。

【新聞局嘱託局員】

「つれづれなるままに、日ぐらし机にむかいて、心になをささうつらさるものごとを、ただひたぶるに書きつければ、あやうこそものぐるほしけれ。さりとて締切のいと近ければ、のどのどとはえ書かざりけり。【いと愛けれども囁託】

スタッフ

局員 HII E 大坂 貴史
HII E 荒堀 洋平
HII E 松本 貴裕
HII C 久保田雄統
顧問 藤田行男先生
萩野一茂先生